

- 今回熊本地震のTEC-FORCE活動で、隊員が現地で得た知見・経験は大変貴重なものであることから、全体で知見の共有を図り今後の災害対応に活かすとともに、隊員の労をねぎらうため「TEC-FORCE帰還報告会」を開催した。
- 現地で活動したTEC-FORCE隊員129名のうち32名が出席し、各班から現地の状況や活動で得た知見の報告、意見交換を行った。

帰還報告会の概要

日時： 平成28年5月19日(木) 15:30～ 17:00
場所： 近畿地方整備局 別館大会議室
出席者： 122名(内、現地派遣隊員32名) 各事務所へ映像配信実施
取材マスコミ：8社



整備局長挨拶(抜粋)

過酷な状況で活動していただいたことに心からお礼申し上げます。

現地で経験された事は何ごとにも代えがたい財産である。それらの知識や技術を周りの方、あるいは将来の整備局を担う方とも共有していくことが非常に大切な事である。そのために本報告会でできる限り記録に残していきたい。



企画部長挨拶(抜粋)

派遣隊員の皆様本当にお疲れさまでした。

近畿もいつTEC-FORCEを受け入れる事になるか分からない、今回の九州地整の立場を踏まえ、近畿が受け入れる場合も考えたい。

現地の実践経験というのは最も学習効果が高いもので、それらの成果をなるべく多くの方に伝えていただきたい。



会場の様子



各班からの活動報告



各地のお礼の言葉を紹介



隊員の知見を職員へ共有



意見交換(整備局長)



意見交換(隊長)